

Title	故 浅井先生略歴・主要著作目録
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1979
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.52, No.11 (1979. 11) ,p.131- 134
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	浅井清先生追悼記事
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19791115-0131

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

故浅井清先生略歴

明治二八年十月二四日 東京市に生まれる

大正八年三月 慶應義塾大学部法律科卒業

大正一二年四月 同大学法学部助手兼商工学校教員

大正一三年三月 兼商工学校教員退任

大正十三年九月 同大学法学部講師(比較憲法、研究会)

大正一四年九月 英独留学のため出発(憲法、行政法)

昭和三年四月 帰朝

昭和三年五月 法学部助教(憲法)兼高等部講師(行政法)

昭和四年四月 法学部教授

昭和六年三月 体育会理事

昭和一七年十月 報国団理事(常任)

昭和一九年七月 兼亜細亞研究所参与

昭和二一年六月 学事振興資金募集塾内委員兼務

同 十月 兼復興委員

同 七月 貴族院議員(勅選)

昭和二年十一月 退職

同 十二月 復職 大学法学部講師(憲法)

昭和二十三年十二月

退職

同 十二月

初代人事院総裁

昭和三十六年二月

退職

同

社団法人民主主義研究会会長

昭和三十八年四月

国際基督教大学大学院教授

昭和四十年十一月

勲一等瑞宝章を受ける

昭和四十三年四月

駒沢大学大学院教授

昭和五十四年八月十四日

逝去 正三位 銀杯一組を受ける

故 浅 井 清 先 生 主 要 著 作 目 録

- | | | |
|-------------------------|-------|------|
| 近代独逸憲法史 | 東京堂 | 昭和三年 |
| 独逸憲法原論 | 巖松堂 | 昭和四年 |
| 明治立憲思想史に於ける英国議會制度の影響 | 巖松堂 | 昭和十年 |
| 元老院の憲法編纂顛末 | 巖松堂 | 昭和二年 |
| 民主主義と政府の憲法草案 | 目黒書房 | 昭和二年 |
| あたらしい憲法のはなし | 文部省 | 昭和二年 |
| 新憲法と内閣（新憲法大系九卷） | 国立書院 | 昭和二年 |
| 憲法精義 | 昭和書房 | 昭和二年 |
| 憲法（慶應義塾大学通信教育教材） | 慶應通信 | 昭和二年 |
| 国会概説（法学選書）新政治行政機構の研究（1） | 有斐閣 | 昭和二年 |
| 改正国家公務員法 | 労働文化社 | 昭和二年 |
| 日本国憲法講話 | 巖松堂 | 昭和二年 |
| 公務員の政治活動 | 労働文化社 | 昭和二年 |
| 国家公務員法精義 | 学陽書房 | 昭和二年 |
| 浅井・末川・一円ほか討論日本国憲法 | 三一書房 | 昭和三年 |
| 他、著書多数 | | |

英国議会制度の伝承に関する資料(一、二)

選挙法の改正

大政奉還と後藤象二郎の公議政治論

明治維新前後におけるイギリス国会制度の移入

議院法の由来と将来

英吉利の憲法、主権、国会、内閣

参議院議員選挙法

衆議院の解散

他、論文多数がある。

法学研究(二一―二、二)

三田評論五二二号

慶應義塾大学二〇〇年記念(法)

社会科学ジャーナル(国際基督教大学)六号

法律時報九一―

法律時報一八―八

法律時報一九―三

人事行政三一―二

昭和七年

昭和一六年

昭和三三年

昭和一二年

昭和二一年

昭和二二年

昭和二七年

林 烈 記